

2026 年 7 月 6 日

〒150-0047

東京都渋谷区神山町 10 番 8 号

株式会社ビー・アール・ビーパートナーズ

代表取締役 能勢 元 様

〒276-0020

千葉県八千代市勝田台北一丁目 11 番 16 号

株式会社地域新聞社

代表取締役 細谷 佳津年

質問状（2）

株式会社地域新聞社（以下「当社」といいます。）は、2022 年 10 月 24 日開催の取締役会において、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めるとともに、当該方針に照らして不適切な者によって当社の財務及び事業の方針の決定が支配されることを防止するための取組みとして、当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収防衛策）（以下「本対応方針」といいます。）を導入することを決議し、2022 年 11 月 24 日開催の第 38 期定時株主総会において承認を受けておりましたところ、本対応方針は、2025 年 10 月 17 日開催の取締役会において所要の変更を行った上で更新する旨決議され、当該更新は、2025 年 11 月 30 日開催の第 41 期定時株主総会（以下「2025 年定時株主総会」といいます。）において承認されております。

その後、当社は、2026 年 1 月 16 日付け「当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収への対応策）に関する共同協調行為の認定についてのお知らせ」（以下「認定プレス」といいます。）でお知らせしましたとおり、同月 15 日開催の当社取締役会において、当社独立委員会による勧告を踏まえて、MTM Capital 株式会社（以下「MTM」といいます。）、合同会社 YN 企画、バイオセラミック株式会社（以下「バイオセラミック」といいます。）、合同会社 Happy horse（以下「Happy horse」といいます。）、KING 有限責任事業組合（以下「KING」といいます。）、静岡エネルギー株式会社、株式会社日本シーサプライ、中谷正和氏（以下「中谷氏」といいます。）、野本豊氏及び鈴木祥元氏（以下総称して「認定対象株主」といいます。）の間に「当該株券等取得者等と当該他の株主との間にその一方が他方を実質的に支配し若しくはそれらの者が共同ないし協調して行動する関係を樹立するあらゆる行為」（以下「共同協調行為」といいます。）に該当する行為が行われていると判断いたしました。もっとも、2026 年 5 月 29 日付け「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、上記判断を公表した後における認定対象株主の株主名簿上

での当社株式の保有状況等から、認定対象株主は、上記共同協調行為の認定を受け、本対応方針に基づく対抗措置の発動を回避すべく、自己名義で直接に当社株式を所有することを避けつつ、当社株式を、信用取引の買い建玉の形で実質的に保有し続け、場合によっては買増しも行っている可能性がある」と推察されたため、認定対象株主が実質的に所有している当社株式に係る議決権割合を明らかにすることを主たる目的として、当社は、2026年6月25日を基準日として、株式分割を実施いたしました。

このような状況下で、貴社は、2026年6月25日時点の当社株主名簿において、当社株式100株を保有する株主として記載されておりますが、貴社の代表取締役かつ唯一の取締役である能勢元氏は、認定対象株主のうちの1社であるMTMの取締役を兼任されているものと認識しているところ、MTMは、同社が関東財務局に提出した2026年4月22日付け大量保有報告書において、保有株式383,500株の全てを信用取引にて保有している旨を開示し、その後、2026年5月13日から同年6月22日の間に当社株式を急速に買い上がり、2026年6月25日時点で当社株式1,110,100株（議決権比率12.94%）を保有するに至っております。

また、認定プレス別紙に記載のとおり、能勢元氏は、2025年定時株主総会にMTMの役員として出席していましたが、同株主総会において、バイオセラミックが議長の不信任及び議長を細谷佳津年氏から櫻井重彰氏へと交替することを求める動議を提出し、これが否決されると、能勢元氏が、当該動議について投票の方法による採決の実施を要請し、当該動議も否決されると、KINGの相良健志氏が、当該動議について、大株主が反対している中で拍手で採決を行うのは違法であるため、投票の方法により採決を行うべきであるとの意見を述べ、続けて、能勢元氏は、自らが議長交代動議に賛成である旨の意見を表明し、KING、バイオセラミック及びHappy horseを順次指名してこれらの株主が議長交代動議に賛成であることを議場で確認されました。その直後、中谷氏も、議長交代動議の採決方法は違法であった旨及び自らも議長交代に賛成である旨を述べました。そして、能勢元氏は、バイオセラミック、Happy horse及び中谷氏と同様に、全ての会社提案議案に対して反対の議決権行使を行っております。このように、能勢元氏は、単にMTMの取締役を兼任されているのみならず、積極的にMTMの立場に立って認定対象株主と協調して行動をしていました。

このため、当社としては、貴社の代表取締役かつ唯一の取締役である貴社がMTMその他の株主との間で共同協調行為を行っているか否かを判断する必要性が生じております。

つきましては、当社において、貴社が他の株主との間で共同協調行為を行っているか否かを判断するために必要な情報と考える下記の各事項につきまして、**2026年7月10日（金）までに当社に到着するよう、書面にてご回答くださいますようお願い申し上げます。**

ご回答の際は、署名・押印のうえ、当社宛に書面でご提出ください。

なお、本書面及びご回答内容は、当社が必要に応じて公表することがあり、また、関係官公庁及び捜査機関等に情報提供することがありますので、あらかじめご了承願います。

記

(1) 貴社及び関連法人・関係者の概要

- ・ 貴社の沿革、資本構成、出資者の氏名・構成比、資金の貸借関係の有無についてご教示ください。
- ・ 主要な取引先及び顧問・助言者（法務・財務・投資等）についてご教示ください。

(2) 当社株式取得の経緯

- ・ 当社株式の取得（信用取引による取得を含みますが、これに限りません。以下同じです。）の経緯、取得開始時期、取得目的、取得資金の出所（資金提供者名・調達方法を含みます。）、取得開始日から本質問状受領日までの間における当社株式の取得及び処分（貸株、借株及び空売りを含みます。）の状況並びにその経緯についてご教示ください。なお、資金提供者が法人である場合、当該法人を実質的・究極的に支配する自然人まで遡って資金提供者をご回答ください。
- ・ 当社株式の保有に関する現時点での方針（追加取得・保有・処分の予定を含みます。）についてご教示ください。

(3) 当社株式に関する意思連絡の有無

- ・ 頭書のとおり、貴社の代表取締役かつ唯一の取締役である能勢元氏は、MTM の取締役を兼任している（同社の取締役である能勢元氏と、貴社の代表取締役かつ唯一の取締役である能勢元氏は同一人物である）と認識しておりますが、かかる認識に齟齬があればご教示ください。
- ・ 上記質問に関連して、貴社と能勢元氏及びMTM との関係（資金の貸借関係、役員・従業員の関係、取引関係、出資関係、ビジネス上の関係等を含みますが、これらに限りません。）についてご教示ください。
- ・ 頭書のとおり、能勢元氏は、2025 年定時株主総会に MTM の役員として出席し、その議場において、認定対象株主のうちの 1 社であるバイオセラミックが提出した議長不信任動議に関して、同じく認定対象株主であるバイオセラミック、Happy horse、KING、及び中谷氏と同調して行動し、また、バイオセラミック、Happy horse 及び中谷氏と同様に、全ての会社提案議案に対して反対の議決権行使を行っております。そのため、貴社の代表取締役である能勢元氏は、認定対象株主であるバイオセラミック、KING 有限責任事業組合、Happy horse 及び中谷正和氏と本総会における株主権の行使等について同調していた

と考えられますが、貴社とこれらの者との間の関係（資金の貸借関係、役員・従業員の関係、取引関係、出資関係、ビジネス上の関係等を含みますが、これらに限りません。）についてご教示ください。

- ・ 第三者（MTMその他の認定対象株主を含みますが、これらに限りません。）との間で、当社の株式取得・議決権行使・提案行為等に関して連絡・協議・合意を行った事実の有無及び該当する事実がある場合、その具体的内容、関与時期及び関係者についてご教示ください。
- ・ 第三者（MTMその他の認定対象株主を含みますが、これらに限りません。）との間で、当社以外の会社の株式取得・議決権行使・提案行為等に関して連絡・協議・合意を行った事実の有無及び該当する事実がある場合、その具体的内容、関与時期及び関係者についてご教示ください。

（４） 当社経営への関与方針

- ・ 当社に対する提案行為又は経営関与（取締役選任、資本提携、事業提携等）の意図の有無についてご教示ください。
- ・ 今後、当社経営方針に関する発言や議案提案を行う予定の有無についてご教示ください。

以 上